
目指せ！漢字検定合格！アミティ達の挑戦。

法色明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

目指せ！漢字検定合格！アミティ達の挑戦。

【Nコード】

N1474BA

【作者名】

法色明

【あらすじ】

アミティ達が漢字検定に挑戦。アミティ達は合格出来るか？

目指せ！漢字検定合格！アミティ達の挑戦。 (前書き)

アミティ達が漢字検定に挑戦するお話です。

目指せ！漢字検定合格！アミティ達の挑戦。

アミティ達は緊張した面持ちで漢字検定試験会場にいた。

アミティとシグは3級、ラフィーナとリデル、フェーリは2級に挑戦するが、一番心配なのは、全く勉強せずに4級に挑戦するクルークだ。

アミティ「みんな、今迄の力を発揮する機会だよ！」

ラフィーナ「絶対合格しますわよ！」

シグ「ボクも頑張つて勉強したぞ。」

リデル「何か緊張しますね。」

フェーリ「大丈夫よ。私達5人は合格出来るように、努力したわよ。約一名を除いてね。」

アミティ達は完全に真っ白になって骸になりかけたクルークを見ていた。

ヤツは人を見下した態度が裏目に出て、漢字検定の模擬試験で不合格を連発。

すっかり、学力もアミティやシグより下になった。

アミティ「可哀想だけど、勉強を怠った報いが出たね。」

ラフィーナ「自業自得という言葉がお似合いですわ。」

ラフィーナは高笑いして、うなだれるクルークを見た。

シグ「足手纏いになったね。」

リデル「勉強せずに遊んだから、ああなるのは一目瞭然ですね。」

フェーリ「あんなバカはほっといて、私達は試験を受けるわよ。」

アミティ達五人と、クルークとの差が出来たのは、遡る事一カ月前である。

目指せ！漢字検定合格！アミティ達の挑戦。（後書き）

第二弾は漢字検定をモチーフにしたサクセスストーリーです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1474ba/>

目指せ！漢字検定合格！アミティ達の挑戦。

2012年1月3日19時52分発行